

## 【講師のプロフィール】

### 柴田 明夫（しばた あきお）

1951年栃木県生まれ。1976年東京大学農学部卒業後、丸紅入社。鉄鋼第一本部、調査部を経て、2000年に業務部（丸紅経済研究所）産業調査チーム長、2002年同研究所主席研究員に就く。副所長を経て、2006年に所長就任。内外産業調査・分析、産業政策・国際商品市況分析の専門家として知られる。主な著書：『食糧争奪』（日本経済新聞出版社）、『資源インフレ』（日本経済新聞社）、『水戦争』（角川SSC新書）、『飢餓国家ニッポン』（角川SSC新書）

### 都筑 建（つづく けん）

太陽光発電所ネットワーク（PV-Net）事務局長。長年、市民の立場から自然エネルギー普及活動に携わる。

2003年には全国各地の太陽光発電設置者をネットワーク化し、太陽光発電所ネットワーク（PV-Net）を設立。2005年にはグリーン電力証書を発行する仕組み「PV-Green」を立ち上げた。

### 神門 善久（ごうど よしひさ）

1962年鳥根県松江生まれ。1984年京都大学農学部卒。京都大学博士（農学）。現在、明治学院大学経済学部教授。専攻は開発経済学・農業経済学。主な著作として、速水佑次郎・神門善久『農業経済論・新版』（岩波書店、2002）、『日本の食と農—危機の本質』（NTT出版、2006）

### 松井 三郎（まつい さぶろう）

1944年大阪府生まれ。1966年京都大学工学部衛生工学科卒、同大学院からテキサス大学オースチン校大学院へ、博士課程修了、工学博士。金沢大学工学部助教授を経て京都大学助教授。1987年京都大学教授、2002年同地球環境学大学院教授。国連地球環境機関（GEF）顧問、有害化学物質、国際水問題担当。2008年水制度改革国民会議理事長。

主な著書：『岩波講座地球環境学4 水・物質循環系の変化』（共著、岩波書店 1999年）、『都市水管理の先端分野 行きづまりか希望か』（監訳・著・技報堂出版 2003年）

### 曾根原 久司（そねはら ひさし）

NPO法人えがお・つなげて代表理事。関東ツーリズム大学協議会事務局長。山梨大学客員准教授。1961年長野県生まれ。明治大学政治経済学部経済学科卒業後、フリーター、ミュージシャンを経て、金融機関等企業経営の経営コンサルタントの道へ。日本の未来に危機を感じ、その救済モデルを創造すべく、山梨の農山村地域へと移住。第1回オーライニッポン大賞ライフスタイル賞受賞、毎日新聞グリーンツーリズム大賞優秀賞受賞、まちづくり賞内閣総理大臣賞受賞。